

# 公益社団法人日本新体操連盟

## 平成 25 年度第 1 回理事会議事録

1. 会議名： 平成 25 年度第 1 回理事会
2. 日時： 平成 25 年 4 月 16 日(火) 18 時 30 分～20 時 00 分
3. 場所： 東京都港区西麻布 3-2-32  
「霞会館 202 号室」
4. 構成員現在数： 16 名
5. 出席役員： 朝倉 正昭(副会長) 石崎 朔子(副会長) 福本 隆(副会長)  
荒井 隆(専務理事) 関田史保子(常務理事) 池田真喜子(理事)  
谷口 裕代(理事) 橋本 千波(理事) 山崎 浩子(理事)  
以上 8 名
6. 欠席役員： 二木 英徳(会長) 渡辺 守成(常務理事) 秋山エリカ(理事)  
上村 郁代(理事) 岡 久留実(理事) 崇島 慎一(理事)  
谷原 誠(理事) 藤島八重子(理事) 田中 元(監事)  
以上理事 8 名 監事 1 名
7. 議案：  
決議事項  
第 1 号議案 指導者セミナーについて(定款第 4 条関連事項)  
第 2 号議案 その他

### 8. 議事の経過及び結果

#### (1) 議長による開会宣言

(公社)日本新体操連盟・定款第 24 条第 2 項の定めにより議長を会長が欠席となったため、荒井隆専務理事がつとめ、開会宣言を行った。

#### (2) 議事録署名人

定款第 32 条により、議長は議事録署名人を福本隆副会長と関田史保子常務理事にする事を議場に諮り承認された。

#### (3) 定足数の確認

定款 31 条の定めにより、理事会出席者数 8 名であることが池田理事より告げられ、議決定足数の理事過半数を満たしている事が報告された。

#### (4) あいさつ

議長は公益社団法人として最初の理事会とのこともあり、今後より厳格に運営して行く事を確認し、挨拶とした。

#### (5) 議決事項

##### 第 1 号議案 指導者セミナーについて(定款第 4 条関連事項)

議長は説明者として池田理事を指名し、池田理事は下記内容の説明を行った。

#### 1. 前回の理事会の確認

3 月 16 日に行われた理事会において、石崎副会長より、指導者の指導レベルの低下が見受けられるために新たな指導者セミナーを実施して指導者の指導レベルの向上を図ることが提案されていた。今会議で基本方針を決定したい。基本方針後実施案を作成し実施に向けていく。基本方針としては、対象者、開始時期、セミナー内容、資格、実施時期などを決定していただきたい。

#### (質疑・意見)

池田理事より、提案として、指導者のセミナーの内容をルール、栄養学、幼児教育、心理学等複数設けて、複合的に受講してもらったらどうか。また、資格レベルを設けて指導者の技術レベルの向上をはかったらどうかと提案があった。

石崎副会長より、日本体育協会の公認スポーツ指導者で同じようなことをやっているが、多くの人に受講してもらうには高度で敷居が高い。新体操に特化し、基礎的な講習を行いた

いと意見があった。

関田常務理事より、新体操連盟の幼少期の登録選手が多いため、なるべく全指導者に受け取ってもらえるようにしたいと意見があった。また、講師については専門家に依頼するのが良いこと。3年から4年の間隔でセミナーを受講にしてもらうことが望ましいとの意見があった。

荒井専務理事より、セミナーを行うことによって、指導者の自主性を阻害したり、新体操の普及の弊害にならないように意見があった。

以上のような議論から、セミナー内容は新体操に関連する教育論や栄養学などの複数の内容を盛り込むこと、開催は年に数回開催し、セミナーの受講歴更新期間は3年から4年に、全指導者に受け取ってもらうような方向性にする事、指導者に資格付けすること、たたき台案は事務局が作成し、次回理事会に提案する事となった。

以上の後、第1号議案「指導者セミナー」について全会一致で可決した。

## 第2号議案 その他

議長は議場にその他議案が無いか確認したがその他の議案は出なかった。

## (5) 閉会宣言

議長は他に質問、意見がないことを確認し、理事会の終了を宣した。

この議事録が正確であることを証するため、議長ならびに議事録署名人は次に署名押印する。

平成 25 年 4 月 16 日

公益社団法人 日本新体操連盟 平成 25 年度第 1 回理事会

議 長

荒井 隆

議事録署名人

福本 隆

同

関田 史保子